

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		自立支援給付費等事業費[自立支援給付事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号	4	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	障害福祉		課	障害福祉		係	課長名	大法 努	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)	55		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 身体障害者・知的障害者・精神障害者			→			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市内の障害者数		
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 障害者が適切にサービスを利用できるようにすることにより、障害者が自立して安定した生活が送れるようにする。			→			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 障害者サービス利用者数／市内の障害者数		
	③ そのために何をしましたか。 障害者自立支援法に基づくサービスについて、介護給付費・訓練等給付費を支給して、サービスを適切に利用できるようにする。			→			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 障害福祉サービス利用者数（サービスごとの利用者数の合計＝重複者あり）		
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	人	4,166	4,221	4,257			
	成果指標	②の数値	%	28.8	28.8	30.5			
	目 標	②の目標値							
		目標値設定の考え方							
3 経費	事業費（実績）		円	1,709,291,904	1,894,040,544	2,062,961,994	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	524,739,032	482,720,160	608,680,226			
		特定財源	円	1,184,552,872	1,411,320,384	1,454,281,768			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	5.0	5.0	5.0			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	41,265,000	41,220,000	41,550,000			
		職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	1,750,556,904	1,935,260,544	2,104,511,994				
4 環境変化等	(1) 開始年度		18 年度						
	(2) 環境の変化								

事業名称	自立支援給付費等事業費[自立支援給付事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	サービスを担う介護人材が不足していることにより、それにより利用したくても利用できない場合もあると伺っている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：②実行委員会・協議会		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	サービス提供を行う民間事業者と協力しながら介護人材を養成していく必要がある。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	障害当事者、関係団体等で構成される地域自立支援協議会において、介護人材の発掘につながる公開研修会を実施した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	介護人材の発掘のためには、継続的にさまざまな角度からアプローチしていく必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 障害者福祉の推進			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			